

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年12月21日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年12月21日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備(C)処理水移送弁本体の腐食について】 当直員がパトロール時に、既設多核種除去設備(C)処理水移送弁のグラウンド部からのにじみ(滴下なし)を確認。その後当社社員が、当該弁のグラウンド増し締めを実施し、にじみがないことを確認したが、念のため弁下部に受けを設置した。 当該弁については、錆による腐食が確認されており、点検・補修について検討中であった。継続して検討する。</p>	GⅢ	12月16日
2	<p>【工事資機材への不適切なシート養生について】 原子力運転検査官より当社へ、構内に仮置きされている工事資機材が不燃シートではなく可燃物であるブルーシートで養生されているとの気付き事項の連絡を受けた。 仮置きされている工事資機材へ、雨避けのために近くに置かれていたブルーシートで養生したことを確認。ブルーシートを撤去し、不燃シートでの養生を実施。 今後、再発防止対策を実施する。</p>	GⅢ	12月17日